

立教大学共生社会研究センター公開講演会

自由への長い道

アパルトヘイト廃絶を勝ち取った市民の力

「人類への犯罪」と位置づけられた南アフリカのアパルトヘイト。

その廃絶に向け世界中の市民が立ち上がり、

1990年、ネルソン・マンデラは釈放され、アパルトヘイトは廃絶された。

私たち、とりわけ若い人たちは、世界を変える力がある。

講演会では、青年時代に反アパルトヘイト運動を担った当事者と、

反アパルトヘイト運動のリーダーを父に持つ日本人青年にご登壇いただき、

人権問題に目をむけ行動することで世界は変えられることを、参加者とともに議論したい。

11.21木 17:05 - 19:00

立教大学新座キャンパス7号館3階 アカデミックホール

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

志木駅（東武東上線）・新座駅（JR武蔵野線）から
路線バス/スクールバスで10分

<https://www.rikkyo.ac.jp/access/niiza/>



*日⇄英 逐次通訳あり

ハリヴ・ジェピー氏

駐日南アフリカ共和国大使館公使
(科学・イノベーション・教育担当)

西ケープ大学とロンドン大学で学ぶ。1994年、南アフリカ共和国初の民主的選挙後に公職につき、ユネスコ国内委員会を含め、様々な国際委員会の委員を歴任。

学生リーダー、活動家として反アパルトヘイト運動に関わり、1980年代後半にジンバブエで亡命生活を送った。

植田 由希氏

ゾーホージャパン株式会社勤務
アフリカユースミートアップ (AYM)
メンバー

1997年、南アフリカ・ケープタウン生まれ。父は南アフリカ人で反アパルトヘイト運動のリーダーだった。母は日本人。5歳で日本に来て、高校まで千葉で育つ。

国際基督教大学(ICU)卒業。政治哲学を専攻し、卒論では沖縄の基地問題をテーマにした。現在はインド系のIT企業で働きながら、パレスチナに連帯する活動に力を注いでいる。

主催：立教大学共生社会研究センター

後援：立教大学コミュニティ福祉研究所

お申込み

フォームより事前申し込みをお願いします！（定員80名、11/18締切）

<https://forms.gle/7bPJJoEqMgZAw8Xus8>



お問い合わせ

立教大学共生社会研究センター
MAIL: kyousei@rikkyo.ac.jp